

## 桜門ドイツ文学会だより

### [平成 30 年度の主な活動]

2018.03.10 理事会・総会・懇親会（日本大学会館 202 会議室）

（理事会：午後 3 時～午後 5 時，総会：午後 5 時～午後 5 時 30 分，

出席者：理事会 14 名，総会 21 名）

#### 【報告】

1. 平成 29 年度活動報告
2. 平成 29 年度会計報告
3. その他

（日本学術振興会からの通知）

#### 【審議】

1. 平成 30 年度担当ブロックと会長，理事長の承認
2. 理事会の日時と場所について
3. 平成 30 年度第 20 回学術研究発表会について
4. 『リュンコイス』第 52 号の編集・発刊について
5. その他
  - ① 庶務委員の増員と分担について
  - ② 『リュンコイス』の原稿提出方法について
  - ③ 『リュンコイス』のデータ化と HP 掲載について
  - ④ その他（会員からの提案等）

#### 〈懇親会〉

総会に引き続き，「だん家」にて和やかに懇親会が開かれた。

（午後 6 時～午後 8 時，参加者：20 名）

2018.06.02 第一回理事会（日本大学法学部 10 号館 1061 講堂）

（午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分）

#### 【審議】

1. 平成 29 年度理事会・総会議事録の承認

2. 平成 30 年度各ブロック理事の承認：渡辺徳夫・森田悟・山崎明日香・須藤温子・田中徳一・柳武司（広報委員会委員長）・○渡邊徳明・三浦美紀子・杉田芳樹・黒瀬志保（庶務委員会委員長）の諸氏 [○は理事長]
3. 平成 30 年度第 20 回学術研究発表会について
4. 平成 30 年度総会・理事会について
5. 『リェンコイス』第 52 号の編集・発刊について
6. その他

2018.09.07 第 20 回学術研究発表会（日本大学商学部 2201 教室）  
 （午後 2 時～午後 5 時 30 分）

【司会・開会の辞】 渡邊徳明

【発表題目】

- ① 「父親」はなぜ不在でなくてはならぬのか？  
 —E.T.A. ホフマン作『砂男』と三島由紀夫作『午後の曳航』におけるエディプス・コンプレクス—  
 渡邊徳明
- ② 講義時間中における休憩の導入  
 —ヘルスプロモーションとパフォーマンス性の向上—  
 山崎明日香
- ③ 第二次大戦勃発約 80 年後に考える Mitläufer の問題  
 —映画『ゲッベルスと私』を軸に—  
 勅使川原聖子
- ④ フランケの描くユートピアについて  
 志田慎
- ⑤ Literaturwissenschaft とは何か？  
 —Silke Schauder: Weiblichkeit im Werden. Zu den Mädchengedichten Rilkes und der Geburt der Venus (2016) を手がかりに—  
 伊藤卓立

【閉会の辞】 保坂一夫

〈懇親会〉

研究発表会後、商学部近くのレストラン「モデラート」にて和やかに懇親会が開かれた。（午後 6 時～午後 8 時，参加者：17 名）

2018.12.16 『リェンコイス』第52号第一回編集会議

(日本大学法学部10号館1041講堂)(午後1時～午後5時50分)

2019.02.16 『リェンコイス』第52号最終編集会議

(日本大学文理学部3号館3201教室)(午後1時～午後5時50分)

[会員の活躍情報]

- ・板倉歌(共著): Deutsch: lokal - regional - global. Studien zur Deutschen Sprache 77. Forschungen des Instituts für Deutsche Sprache, Tübingen: Narr Francke Attempto Verlag, 2017.

[寄付について]

平成30年度に、石塚秀樹先生と匿名の先生3名より当会に寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

桜門ドイツ文学会の発展にご尽力いただいた柳川三郎先生が2018年3月31日に、そして、金森誠也先生が同年6月6日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

(文責 渡邊徳明)